

白杵市 施策評価シート (令和3年度)	評価 担当者	課名 子ども子育て課	氏名 尾本 浩	内線 2500
------------------------	-----------	---------------	------------	------------

コード	I-2-3	施策名	安心して産み育てるための支援
施策の方針	子育てしやすい環境を整える		
まちづくりの方針	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)		
5年後のめざす姿	妊娠から出産、子育てまで、その時々に必要な支援を受け、健康で安心して過ごせるような支援体制を整えます。また、子育てを地域全体で支え合う仕組みづくりをめざします。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 第2期白杵市子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援施策・事業等を推進します。 ちあぼーとを中心に関係機関との連携を強化し、対応する職員のスキルアップを図ります。 子どもの健やかな成長・発達を支援するとともに、子育て世代の経済的負担軽減に取り組むなど、更なる子育て支援を充実させます。 		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移					
				R1	R2	R3	R4	R5	R6
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	目標	乳幼児健診時の「健やか親子21アンケート」において、この地域で子育てをしたいと思う親の人数÷健診受診者(親)数	%	96.7	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0
	実績		96.7	97.3	96.9				
	達成率		%	100.3%	99.9%				
母子手帳交付時の保健指導率	目標	保健指導実施者数/母子手帳交付者数	%	100	100	100	100	100.0	
	実績		100	100	100				
	達成率		%	100.0%	100.0%				
3歳6か月児健診受診率	目標	3歳6か月児健診の受診者(児)数÷対象者数	%	96.3	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0
	実績		96.3	98.4	98.4				
	達成率		%	101.4%	101.4%				
0～5歳児の数	目標	住民基本台帳による各年の4月1日現在の0～5歳児の数(対前年10人増を指標とする)	人	1321	1,330	1,340	1,350	1,360	1,370
	実績		1321	1256	1165				
	達成率		%	94.4%	86.9%				
児童の朝食欠食率	目標	全国学力・学習状況調査における小6の朝食をあまり食べていない+全く食べていない割合	%	7.6	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	実績		7.6	調査無し	7.0				
	達成率		%	-	71.4%				
指標の分析	目標	ちあぼーとを中心として、妊娠期から切れ目のない子育て支援が充実し、相談支援体制整備にも努めており、気軽に悩みや不安などの相談ができるようになっていきます。本市で子育てしたいと思う親の割合は引き続き高い割合となっていますが、前年度対比では減少しており、支援制度の狭間があるなどの課題があると認識しています。また、安心安全な出産に向け、母子手帳交付時の保健指導は必ず行っています。乳幼児の健診は、90%以上がちあぼーとでの集団健診を受診し、残りの数%も小児科での乳児健診となっており、未受診者はほとんどいない状況となっています。乳幼児の人数の減少については、子育て世帯の移住定住等による増加を期待していましたが、コロナ禍の影響と少子化による出生数の減少が大きく影響しているものと考えています。							
	実績								
	達成率		%						

<市民意識調査結果>

市民意識調査結果	領域名	必要度	満足度	満足度
市民意識調査結果(R3調査)	向上領域	2.74	2.21	2.30
市民意識調査結果分析				2.00

令和3年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに高く、「向上領域」に位置しており、取り組みの向上や維持が望まれています。

「必要度」「満足度」ともに前年度より高くなっています。妊娠期からの切れ目のない子育て支援の充実に着実に取り組む中で、事業の拡充に加え、コロナ禍においても子育て世帯への寄り添い支援や給付を行ったこと結果と考えています。

<次年度以降の課題>

令和4年度以降の課題	今後も継続的で、連続性のある安心して生み育てることができる支援や市民ニーズに対応した総合的な取り組みが必要であると考えます。若い女性の市外転出や晩婚化、子育てに係る経済的負担が課題で、出生数減少に歯止めがかからない状況ですが、安心して出産を迎え、子どもの健やかな成長を願い、様々な支援体制を整えていきます。こうした中、妊産婦医療費助成の継続に加え、令和4年度からは、子ども医療費の助成拡大(小中学生の通院に係る自己負担分廃止)を実施します。産後の支援の充実のために産婦健診事業を採り入れ、必要に応じて産後ケア事業につなぐなど、コロナ禍においても、妊娠期からの切れ目のない支援を充実していきます。
------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R2年度実績	R3年度実績	令和4年度年度見込み			
1 利用者支援事業	子育て支援コーディネーターを配置し、妊娠期からの切れ目のない支援をコーディネート	子ども子育て課		8,288	8,572	9,620	重点継続		I-2-4
2 子ども医療費助成事業	子どもの医療費を助成することにより、疾病の早期発見と治療を促進	子ども子育て課	○	83,323	97,451	117,008	重点継続	○	I-2-4
3 乳幼児等健康診査	4か月・10か月・1歳6か月・3歳6か月健診等乳幼児の健診実施や、妊産婦健診の費用助成	子ども子育て課		20,024	18,713	22,974	継続		I-2-4
4 乳幼児等訪問事業	生後4ヶ月を迎えるまでの児の保健師・看護師・栄養士等の全戸家庭訪問を実施	子ども子育て課		1,209	1,265	1,505	継続		I-2-4
5 予防接種事業	予防接種法による定期予防接種及び任意予防接種の費用助成	子ども子育て課		93,323	77,977	93,707	継続	○	I-1-2
6 妊産婦医療費助成事業	妊産婦の保険適用による医療費の自己負担額の助成	子ども子育て課	○	5,027	4,287	4,500	継続	○	I-2-4
7									
8									
9									
10									
合計				211,194	208,265	249,314			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	安心して産み育てられる支援について、様々な市民のニーズに対応するため、子育て支援だけでなく、住宅・雇用・結婚・出産支援など総合的・横断的な取り組みが必要であるので、限られた財源の中で、どのような施策の展開が効果的なのか、その施策をどう積極的に情報発信していくかを検討する必要があります。また、単年度で終わることのないような、継続的で連続性のある支援を実施していく必要もあります。妊産婦医療費から子ども医療費まで自己負担分を無料化することで、安心して子どもを産み育てられる環境が整います。	課長評価
概ね順調		重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

実施年度	令和3年度実施済	内部評価
		-

※以降の評価は、令和3年度～令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

<白杵市行政財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
-	

<白杵市行政財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--